

CIMA

THE BIG GLORIA

NISSAN GLORIA CIMA TYPE II LIMITED Specifications

*Overall length 4890mm Overall width 1770mm Overall height 1580mm Wheelbase 2735mm
Tread front 1500mm Tread rear 1520mm Engine VG10DET Inve cam high-flow ceramic turbo
Displacement 2960cc Bore x stroke 87.0 x 83.0mm Compression ratio 8.5 to 1
Max. power (net) 255PS/6000rpm Max. torque 35.0kgm/3200rpm
Transmission Automatic 4-speed Suspension front Independent struts
Suspension rear Independent semi-trailing arm with Electronically Controlled Air Suspension system
Brakes front & rear Ventilated discs with 4-wheel anti-lock brake system
Tires 205/65R15 93H steel radial*

NISSAN
GLORIA CIMA

まったく新しい「豪華車を代表するビッグ・カー」には、スベイン語で「頂点、完成を意味するCIMA（Pinnacle）」という名をきました。

このCIMAには多岐にわたるイメージが込められていますが、ACANTHUS（acanthus）です。アカシヤも、海老・ローブ（甲殻類の多年草で、年間を通じて緑をたもたし、その心を開きしめる植物。古代ギリシア・ローマ時代のもどった装飾物の原型には、このアカシヤが装飾をモチーフとして多く用いられています。故事の象徴というより、盛かみを伝えるモチーフとして選ばれたのです。

シーマは、そのアーダースコフ、キープレードなどに、このアカシヤ文様を取り入れています。

量型制作は彫刻家・二田隆典二氏の手によるもので、シーマの持つ作品と手造り感を表現しています。視点にあれものだけという、ゆとりと豊饒。なほ、アカシヤの電圧量は「豪華工業の王上の象徴」があります。

ご自分の人生を振り返ることも、将来を語ることもできるオーナーに贈りたい。

これからの高級車は、日本国内だけでなく、世界に通用するクルマでなければならない。あらゆる制約から解放されて、自由な発想から生まれるクルマでなければならない。新しいビッグ・カーのテーマは、ここから出発しました。クルマを趣味性の高い、生活文化の一環として、考えたかったからです。ボディそのものから新たに設計すること。国産車最高の心臓を持つこと。これまで培ってきた日産の技術を惜しみなくすべて投入すること。そのひとつの結論が、3ナンバー専用車の、「グロリア・シーマ」です。ゆったりと幅広く、大きく、長い。伸びやかで、優美で、それでいて途方もない力を秘めた曲線。これまでのカテゴリーにはまったくなかった高級車です。世界に通用するラグジュアリー・ビッグ。そのポテンシャルは、つきあえばつきあうほどきつと深く感じていただけることでしょう。グロリア・シーマ。これが、新しいビッグ・カーの価値基準です。

At Nissan, we believe that the culmination of automotive excellence results in a truly well-bred automobile that is highly valued not only in the domestic market but also in the international market. This automobile should be a statement of one's life-style, singularly distinguished.

To accomplish this formidable challenge and build the ideal car, engineers must be free of any limitations whatsoever.

This fundamental belief formed our approach in designing and producing the Nissan GLORIA CIMA. Starting completely from scratch, we equipped this sleek luxury sedan with an incredibly sophisticated V-6 3-litre twin-cam engine. Nissan's accumulated technology can be found both inside and out.

The end result: A car with road manners that rival the world's finest luxury sedans. Overall dimensions include a 4,800mm carriage length and 1,770mm width. Wide and long, the Nissan GLORIA CIMA boasts stylish curves and a shape that helps open endless opportunities on the road. Its high level of intelligence and sophistication is rarely found among reasonably priced luxury sedans.

Which, in all likelihood, explains the Nissan GLORIA CIMA's highly regarded international reputation.

The Nissan GLORIA CIMA. It sets new standards for luxury sedans.

きっと、新しいビッグ・カーの時代が来る。



私はシーマを待っていました。

時代は大きなゆとりを待っていました。

心をよりゆたかにしてくれるもの。

今クルマの分野にもそんな想いにこたえるビッグ・カーが現われました。

新しいグロリアの頂点、グロリア・シーマ。

そこには大きな視点から生まれた大胆さと

小さなパーツにまで妥協を許さない繊細さが生きています。

それは一つの理想を追い求めたかたちです。

心のゆとりという理想。

私が待っていたのは、そんな一台です。

私が待っていたのは、この新しいビッグ・カーです。





写真のボディカラーはパールブラックメタリック。オプションのエアロパーツは別売。写真はメーカーオプション。

TYPE II LIMITED / TYPE II



LEXUS SC400 2+2 CONVERTIBLE

TYPE I



タイプⅡはステアリング、後席ヒーターシートとヘッドライアー自動昇降機はオプション。
ホイスターコントロールは販売店がオプション。



快い刺激と自由という想い。高性能の深さを識る。

新しいビッグ・カー。シーマのコクピットは、オーナーの心の解放区として、しつらえりも。まるでオーダーメイドのような質感のパーソナルキーでイグニッションON。小気味いいツインカムサウンドが心地良い興奮を呼び起こしてくれます。上質の素材をいかし、大らかに形造られたインストルメント、メーターパネルは眼に優しい木目模様。そして自然な振舞いで手に触れる操作系、それらがこのクルマの持つ豊かさを充分に語ります。そこにはビッグ・カーとしての新しい価値基準を導き出しています。人の五感にとって何がベストであり、気持ちよく運転していただけるかを突き詰めた結論がこのコクピットなのです。ですから、取り直したような素っ気なきは、ここにはないはず。シーマは、人とクルマの奥深い付き合い方をよく知っています。ときには運転しながら思考を遊ばせ、ときには心を解き放って走らせたいオーナーの気持ちをよく理解しています。そのうえでシーマの高性能、シーマのゆとり、シーマの優しさをチューニングしてあります。オーナーの方には、心の制約を取り払ってお乗りいただけるはず。シーマの価値基準で選びぬいた優れた装備品。シーマは、機能優先で装備品を配したばかりでなく、指先のタッチ感にまで神経をゆきわたらせ、その素材感、デザインにシーマ・イズムを徹底しています。装備品個々の品質についても、このビッグ・カーにふさわしいものを選びぬきました。その代表的なものとして――

PROアコースティックサウンド^①は高級車としての音質を深く追求。自然な音場を再現し、聞き疲れないサウンドシステムの逸品です。さらにCDプレーヤー^②（オプション）も用意しました。光通信スラッシュディスプレイ^③（オプション）はASCD、オーディオ、エアコン操作が行えます。ハンドフリー自動車電話^④（オプション）は短縮ダイヤルをタッチするだけで、受話器を取らずに会話が出来ます。また、ドアミラーワイパー^⑤（オプション）のほか、雨滴感知式開けっ放しオートワイパー^⑥（オプション）、オートリフレックスルームミラー^⑦（オプション）も用意。





私的であり知的。心と身体の緊張が解けてゆく。

オーナーと、お迎えするゲストの豊かなくつろぎを、シーマはこのビッグキャビンで約束する。乗る方の気持ちでもできるおざり解きはむしろ、たとえ長距離を走行する場合でも、その疲労感をゼロに維持したい。シーマはスペックのみを先行させず、オーナー自身にかつてない大いなるくつろぎを味わっていただくために、このキャビンを提供します。その豊かさはまた、ときとしてお迎えするゲストへの最高のもてなしともなはずで。室内長1950mm(※1)は、室内幅1460mmという広々とした空間にゆたかりとしたシート、脚を伸ばし伸ばしと遊ばせてくれる床面積。そしてセンタービュウランスの開放感。心のひだりが静かに開かれていくように、自分に選ばれる場所、そして大切なゲストを迎える場所、パージナル・キャビン、くつろぎは、このうえありません。また、スタイラスが香りをたう、上質な本皮シート(※2)も用意しました。

快適パワー機構、そして後席のゲストのために。新しい時代のビッグ・カーとして。機能性の追求だけでなく、人間工学に深く踏み込んだシーマは、さりげなく豊かさを表現しながら、その機能性、そして使い易さに大変優れています。運転席のドアトリム(※3)をご覧ください。ここには運転席パワーシート(※4)のスイッチがあります。パワーシートのスイッチは、わがややすい形状で操作しやすく、ベストポジションに調整できます。またパワーウィンドウのスイッチ配列は、自然に手を置く方向に向けられています。リヤコントロール(※5)は後席のゲスト自身がオーディオ、エアコンを操作できるほか、マイクヘッドホン(※6)も装備してあります。後席用のパニキュラー(※7)も装備してあります。また新熱ダラス(※8)や前・後席でそれぞれ温度設定できるフルオートエアコン(※9)、メモリーシートローラー(※10)など、快適な空間が得られます。後座席にはヒーターシート(※11)も用意して、ゲストへの配慮も欠かしていません。





タイプIIIリセッティング。

シーマは、3ナンバー専用ボディ。

シーマが獲得したボディは全長4890mm、全幅1770mm、全高1380mm（（1375））かつ、側面を見ないロング&ワイドロー、カーデザインにおいて美の三大要素といわれるこれらの要素を、サイズの制約を超えて自由な発想からバランスさせた理想のカたちです。自由に伸び伸びデザインされたビッグボディ。こんなプロポーションはいかがでしょうか。フロントは、ヘッドランプをサイドに回り込ませない新しい個性的な顔立ち、たっぷとした張りのあるフード、気持ちよく回り込まれたフェンダー。そしてボディサイドはボリューム感のある曲面がテールエンドまで続きます。バンパーに埋め込まれた楕円形のコーナーリングランプと、新デザインのドアミラーが、シーマのエクステリアの革新をいっそう引き立てます。豊かなリヤビラーからリヤフェンダーに至る伸びやかな流れ、リヤウインドウの柔らかな丸み、そしてリヤコンビネーションランプは、優雅さを物語ります。大いなるものは、手造りのような細やかな美意識によってこの存在感を誇り得たのです。ひとたび走り出したときの圧倒的な力感は、新しいビッグ・カー、シーマのもっとも美しい姿として、運の転換にも深く刻みこまれることでしょう。

ボディにこの質感をもたらせた高品位塗装。

外板に表面が均質で耐熱性に優れた「レーザーミラー」鋼板などを使用しうえて、塗装は、日産の最新技術4コート4層（4層塗装・4層焼付）という多重工程を採用し、人念に磨き上げています。いかなるシーンにおいてもボディカラーはそのフォルムと引き合い、より深みのある表情を常に保ち続けます。

Quality

伸びやかな美しさ。大いなるゆとり。シーマ、このクルマは、オーナーの気持ちの豊かさをそのまま映し出すようだ。

この美しさをいつまでも保つ防錆性能。

シーマは、いつまでも永くオーナーに愛されたいと願っています。したがって、クルマにとって大敵であるサビ対策にも、徹底した姿勢を採っています。ここにはね石が当たりやすい箇所や傷つきやすい箇所は、それが原因で腐食の進行を早めるので、ここに新素材、亜鉛ニッケル合金メッキ鋼板を採用。新聞紙の厚さカチオン電着塗装を施し、防錆ワックスを人念に塗布。ボディの美しさを永く保ちます。

シーマの骨格は、高剛性モノコックボディ。

ボディがそのままシャーシ・フレームと一体となったモノコックボディ。したがって、強固なうえにボディ剛性も高く、ハンドリング、乗り心地、静粛性に好影響を与えます。また、衝撃のエネルギーをボディ全体に分散吸収し、キャビンを守るので、万一の際の被害を最小に抑えます。安全性の高さにはこのボディの誇るべき利点。ビラーレスハードトップもこのボディが実現したものです。



開放感を感じるビラーレスハードトップ。

パーソナル感が強く、なおかつ後座にお乗りになるゲストへの配慮として乗降性に優れた4ドアハードトップ。シーマはセンターピラーのない、すっきりとしたカタチです。これは安全性を重点に長い歳月をかけて研究し続けた日産の技術力が、乗る人のための高水準を追求したもので、ビラーレスの快適さをもたせています。その開放感は、心を爽快さで満たしてくれるにちがひありません。

知的空間として、音へのこだわり。

ドアを閉じる音からも、造りのよさを感じさせるシーマは、キャビンの静粛性においても高いレベルに達しています。遮音材をふんだんに用い、ボディ全体の振動を抑え、さらに徹底したフラッシュサーフェス化を図りました。この高い静粛性によって、高性能オーディオもより際立ちます。また、人にやさしい音質のソフトウェアアクラクションを採用したほか各種警報音の音色にも心をこらしました。

温かみを感じさせるシーマのインテリア。

膨大なビジネスワークをこなせるオーナーにとって、シーマとの付き合いはきわめて限られた時間にもちがひありません。ビジネスからビジネスへのわずかな移動時間、あるいはウィークエンド、また大切なゲストが同乗することもあろうでしょう。それだけに、オーナー自身が心身ともに休まる空間で、しかもどなたが同乗される場合でも、ともにリラックスいただけるキャビンでなければなりません。シーマのインテリアは、こんなオーナーのシーンを想定して仕立てられています。まったく無理のない自然な造形、無意識のうちにも人の気持ちを豊かにしてしまふシート、100%ウール素材（（100%））の吸湿性、肌ざわり、そして静電気帯電防止処理、長時間を走行したあとも、あまり疲れを覚えない構造。ドアウエスト部の柔らかなふくらみは、シーマのゆとりの深さを表わしています。そして優れた機能性をもつ各種装備のスイッチ部は、木目模様をぬい、趣味的のよさをかもし出します。温かみにあふれるインテリア、これらが広いスペースのなかで乗る人の気持ちを柔らかに解きほぐしてくれることでしょう。新しいビッグ・カーとしての豊かさが、このキャビンにあふれています。

安心感がふくらむ数々のセーフティ機構。

頑丈なモノコックボディ、このビッグボディを軽々と走らせ、確実に止める無類の制動性能。それ以外にこのクルマには数々の安全機構があります。フロントシートベルトはショルダー上下調整式ランションレスELR付でいかなる体格の方にもジャストフィット。圧迫感がないので自然な姿勢で運転いただけます。後座にも3点式ELR付シートベルト（センターシートは2点式）を装備しました。また、ライ機構、ヒール機構で最高水準にあるほか、フロントガラスに付着する油膜を一掃にして取り除くニュートクス（油膜とりウォッシャー）、フロントはより、リヤにも合わせガラスを標準装備するなど安全面でも徹底しています。

国内最高峰255PS。V6、3000ccツインカムターボ、VG30DET。シーマの大きいボディのための、

いつか超えられるだろうか。VG30DET。

発売以来わずか3年間で生産累計100万台を達成した日本のV型エンジン。日本のV型エンジンは、このエンジンにのっとるにあつたのではない、そんな気さへ起こさせます。柔軟性、そしてローシグナリングのほかに、それが採用しているように、ハイパワーでも簡単に引き出すレイアウト、新しいベッパ・カーブシマの太いものゆゑのために、このV型エンジンが人体質の高回転から「フューエル」こそと重要な「たすけ」です。6,000rpm以上でカムターボ、国内最高峰VAG30DEト、発達加速中間加速、そして負えぬ知(力)700kg伸び、その速度から一気に抜け出て、くるくるめく加速感、思い通りに走らせたい、カムターボがそれほど高いわけでは、それはそのまま走り時のゆとりにはなりまします。そのVAG30DEト、日本トップクラスの量産車、3000cc V型8気筒、4カムインジェクタ24バルブVAG30DEに、これほど日本の誇るアインセラックス製、インフローターを装着、「高レスポンスターボの小容量」「高出出力・ターボの人型化」という相反する要求を高次元で両立させたのです。ひいてはタービンロータスの小容量によって軽快の過給システムが得られたこと、そして独自の材料技術、ハウジング形状の最適設計によって、タービネーターを人型化して遊戯能力を倍増し高められたという技術的背骨がありふれた「ノーマルアスレクション」のVAG30DEにてさそひずきむなみトルクを高めるべく、この驚くべきターボを装着したことで出力/対車重比乗用車の255PS/26000rpmより、最大トルク35.0kgm/3200rpmに達しています。しかもタウルクを盛ることなく、20%刻みの動力性能をもと簡単に引出される低燃費、これは極めて乗り倒いでこれほどの品質、高性能車でも稀あななかった、新しい感動となつていくでしょう。シマのもの典深に魅力の一環といえる素晴らしいエンジン、燃焼力。

日産の最新テクノロジー、さら星のごとく、
可変電気コントロールシステム(NICS)。全
域で効率的な燃費を行なうため、プラナ
リに可変・バンプを設定、直中回転時に閉
鎖回転時に開閉に切り替わり、滑り出し、滑り
止まりを発生させるシステムです。スロットルレ
バーに優れたバンプスロットルチャナバーに相
まって心地よい加速フィーリングを実現して
います。あわせて可変・バンプタイプ電気コ
ントロールシステム(NICS)を備え、電



ツインカムターボの専用メカニズム

VG30DEトーションには、ハイオクガソリンに対応して、ハイオク対応過給圧電子制御システムを採用しました。運転条件、気象条件、ガソリン性状にかかわらず、常に最適な過給圧に制御し、全域にわたる高出力化に大いに効果を見られます。また、ピストン冷却油圧シフトを高めることにより、ピストンを冷却し耐久性を高めるだけでなく、フロッギングを抑える効果があります。

で吸気バルブの開閉タイミングを最適に制御し、出力・トルクを高めるほか、燃費面でも大きく貢献。またNDS（ノズル・レギュレーター・インジェクションシステム）や、エアシリンダーバルブを各気筒のプラグに直接取り付け、ECCS（コントロールユニット）から最適点火時期を指示し、常に安定した燃焼により、高出力・高トルクにつながるシステムです。また、数々の先進のメカニズムによって高品質の業績といえる耐摩耗性を高レベルで実現しています。

痛快レスポンス&ハイパワー。VG10DE。

レゾナンスを特長とし機能に躍動感ある VEG03DE。右足の動きに直結して即時に立ち上がり、軽快の動きを演出するサウンドが気持ちよさを高める。メーカーとしては、人の軌動、よりメカニズムの力強い力を伝えてきます。高性能に於て高度な、スタートアップとセンサーが精度を下げる。そんな光景が目に見えてよくなる。 VEG03DE、そのパフォーマンスから発生する最高出力200PS、6600rpm(1分)、最大トルク26.6kgcm、4400rpm。鉄鋼製軸でもモーションレスにパフォーマンスを引き出し、性能に込められたパフォーマンスを見守り、積み重ね、シーンを意のままに操ることで、それはこのVEG 3000ccのファンカージェンシの期待を超える痛快ばかりであり、より、より、その期間に於ける楽しみはありと尽きません。

フルレンジ電子制御オートマチック。

への感覚は最近まであまり実にはなっていない。トランスエクトを行なう最新オートマチックフルレンジEAT-A、車速感知が油圧、スロットル開度、エンジン回転数など各種センサーからの情報をコントローラユニットで解析、変速クランクを自動する油圧をさめ細かく電子制御して来にながら変速する。加速した時、減速した時、急降下時スロットルフオーリングで、減速する。1期行おのれ適切なギヤを選択する。また、超短ギヤやレオスを採用して、技術的加速フオーリングで実地最も速い電子制御によって変速にはロケータなく、いわゆるスムーズで心地良い走り有分に楽しんでいただけてほしい。さらに、モード間で対峙し、のまどと遠足走でもスノーモードを持ち、走行条件に応じて最適なモードまでおたてます。ごまも人によってフルレンジEAT-A、トランスを快適な走りに変換する爽快さと共に、トランスの静かさを象徴するような質の高い音を感じさせる山岳音・高速音オートマチックです。これらも、新しいジグ・カーのために用意された。

えもいえぬ懺り心

ピッチ・コントロールの走行性能を決定するシヤン・能力。素晴らしいイマージンを持ち、何例もの動力性能を誇ったとしても、車外に快適な走行フィーリングを届けるのは、シヤン・のキャパシタリティなのです。それは車室に影影響し、走行安定性、ハンドリングなど、総合的な性格として表れます。シーマは、新しいピッチ・カーとしての明確なコンセプトをもって、この足まわりのシヤン・にかけました。ストローク独立懸架システム・セイリング・ゲーム・独立懸架。この4輪独立懸架システム・セクションは数多くのスポーツカーが採用し、その優れた運動性能と信頼性に定評のレイアウト。日産で50年もの経験で採用、膨大なノウハウの蓄積があり、そのノウハウを結集して熟成、シーマの安定な足まわしとして完成されました。直走安定性は疑い、コナリング、ノックアウトの車庫変更でも無難の安定感。ハンドリングに対する応答性も素晴らしい、スラッシングを走るオーナーを充分に満足させるでしょう。タイプIIマニトッド、タイプIIに電子制御エアクラクションを、スポーツ仕様の強いタイプII SCは専用チューニングしたスポーツエアクラクションを装備しています。

4 輪独立懸架サスペンションの性能。

フロントはストラット式、直進性に優れた、さらに走行中、路面からの突上げや車体の揺り回しを防ぎ、快適な乗り心地を実現する。三重防音対策（エンジン・メンバー・ホイール、クランク・ベニオン式電子制御・パワーステアリング）と相まって、なめらかに静かなドライブがもたせられて実現しています。やはり乗り心地に優れた、高い運動性能をいっしょにコーニング・アーム式です。このサスペンション方式に数々のチューニングを施し、ビギン・カーにふさわしい素晴らしい安定性を獲得しました。ここにサスペンションの優秀が明確に出ると思われるコーニング・アームにおいても、抜群の安定性を発揮します。

ステアリングを握る人と風景を楽しむ人。シーマの脚は、その両者に違う快適さを、同時に提供する。

電子制御エアサスペンション。

乗り心地・操縦安定性を高めるために、車高調整機能をもたせた電子制御エアサスペンション、このシステム、1段階のバネ定数をもつエアサプリング、3段階の減衰力をもつショックアブソーバを4輪に装備。きのこのはね検知を行なう車高センサーをはじめ合計11種類のセンサーによって路面状況、走行状況を把握し、バネ定数、減衰力を電子制御。乗員数による車高変化を防ぎ、車両姿

勢を常に保つたに際し、優れた安定性能と速な乗り心地が得られます。高速走行では自動的に車高を下げることで安定性を増します。制御モードは、NORMAL（通常の乗り心地）とSPORT（しつこい乗り心地と安定性）の2モード設定。さらにスイッチ操作で、HIGH（急路走行時、路面の上り下り回避）、EXTRA（急路・急弯時90km/h、タイムアタック用の振盪調整時の2つの車両姿勢）が得られます。

A side profile view of a dark blue Ford Mustang driving on a road. The car is positioned in the lower half of the frame, with its front end pointing towards the left. The background is a bright, hazy sky with soft clouds. The car's design features, such as the side scoop and wheels, are visible.

いちじるしく高い効果もあわせています。
また、このビデオでとりだした大きな特徴のひとつは、
さらに、電路や電機工事などの作業に必要と
なれる性質があります。なにより、この技術が
空転を始めれば、反対側の車輪へ同時に、
そして確実に駆動力を伝え、容易に駆動する
というわけでは、スナッピングをしないとして、
それは大きな安心感もあり、どんな走行状況
下でも気持ちにゆとりをもって運転することが
できるよう。

より高い安全性を求めて、制動力強化

目的な動力性能には、それ以上の力が必要となるのは当然のことです。優れた安全性能を持たず自然のビギナーは懐疑でまません。シマワのブレーキは特性に富み、常に安定して制動力を発揮する4輪ディスクブレーキシステムに採用してサテジナルを高め、万全です。そのうえで、4WAS(4輪サテジナルブレーキシステム)を装備した急制動時でもイキリストップせず、4WAS通りやす、路面で急ブレーキをかけた後がロック、スリップが起きないという点に起因しています。このような電液制御のため、シマワは4輪サテジナルブレーキシステム(4WAS)を装備したのです。それは、前2輪と後2輪の3つのセンサが輪軸のスリップ状態を逐一検知、ブレーキ油圧を電子制御して車輪のロックを防ぎます。それは、レーサーが「ヤークン」急制動時にスピンしないようコントロール、ブレーキより、時には高密度の「フーグロンOFF」にこれら、たとえ濡れた道や凍結路面より低速で走ってもブレーキが途切れてしまう危険なことはもちろん、その障害物と衝突してもブレーキしないハンドルの操作でこの障害物を避けることができます。また、品質のよさを表わすように作を任せるブレーキシステムへのキャパシタ小さく、違和感はありません。シマワは乗客の安全をすべて優先する、という大前提はこの先進のブレーキシステムで実現しています。【安全性能】

操縦性を重視したパーキングブレーキ、リカバリー女性でも操作しやすい、イージーグリップパーキングブレーキを採用します。握りしめるにはフットレスト上に足を置く。解除はセンターコンソール部をノブを軽く引っかけるだけで、ドライブに余計な負担をかけません。



いつもとは、違う夢。シーマ・タイプII-S。

大いなるスポーツ心を解き放っていただきたい。
このクルマは、その期待を越えて存在します。



ビッグ・カーをスポーティに
乗りこなしていただきたい。タ
イプII-S。そのダイナミックな
フォルムはエアロパーツによっ
て、いっそう引き締められ、一流の
スポーツマンに似た爽やかさを発散させます。
流らかな曲線流のメンバーと一体化したフロント
スポイラーとリアアンダースポイラー、脚まわりの
強靱さを予感させるブラックシルモール。ビッグ・
カーとしての安定感とともに優れた空力性能を達
成しています。エンジンにはVG30DET。この国内
最高のエンジン・スペックはあくまでもマージンと
して抑えとどめ、お乗りいただきたい。そう願います。



そして専用チューニングを施したスポーティサス
ペンション、215/60タイヤで脚は強固にして、しな
やか。厳造アルロードホイールも用意はつきます。
シートは夫人のスポーツ感あふれるワイド調ウ
ールのシートとレザー張りのドアトリム。専用オー
ナメントも配して、これまで出逢った多くの高級高
性能車とは明らかに異なるであらうタイプII-S。
大いなるスポーツ心と、確かなる理性の持ち主
には、きっと魅惑の一台となるでしょう。



